



2026年4月1日

各位

住所 静岡市清水区天神二丁目8番1号
会社名 静甲株式会社
代表者名 社長執行役員 鈴木孝典
(東証スタンダード・コード番号:6286)
問合せ先 執行役員 福永純一
TEL 054-366-1106

県民の「投力」向上へ、2,000人が体験した静甲ソルフェジオ×静岡理科大学【なげかた教室】

～45分の授業で投球動作が変化、産学連携により指導効果を科学的に実証～

当社（本社：静岡県静岡市、代表取締役 社長執行役員：鈴木孝典）は、当社が運営するソフトボール部「静甲ソルフェジオ」を中心に、地域に開かれた実業団チームとしての活動を展開しています。その一環として、地域の子どもの運動能力向上への貢献を目的に、当社独自の授業プログラム「なげかた教室」を推進しています。

本活動は、静岡県内の児童の投力低下という地域課題に対し、スポーツ科学の知見（産学連携）を取り入れながら、子どもたちに「できた！」という成功体験を届ける『地域共創』のモデルケースを目指すものです。

記

■ 背景：地域の課題解決に「企業スポーツ」が貢献

2024年度の全国体力・運動能力調査において、静岡県の児童の「投力」は低迷傾向にあります。

静甲ソルフェジオは、現役アスリートの技術を活かして、この課題解決に貢献します。

本活動の目的は、技術向上以上に子どもたちが抱く「投げられた！」という成功体験によって生まれる運動有能感（運動への自信）を生むことです。運動の得意・不得意に関わらず「自分なりにできた」という自信を育むことで、子どもたちの健やかな成長を支えます。



自治体に配付したチラシ



「なげかた教室」指導の様子

■ 活動実績：2,000人を超える子どもたちへ「投げる楽しさ」を伝える

2025年度は静岡市を含む県内21校、2,174人の児童を対象に実施しました。当社独自の指導マニュアルに基づいた技術指導にとどまらず、バドミントンのシャトルやペットボトルを用いた遊びの要素を取り入れ、ボールに対する恐怖心の払拭や投げる動作が「全身運動」であることを科学的に伝えながら、子どもたちの自己肯定感の育成を重視した指導を実施しました。



活動後に子どもたちと交流する様子



バドミントンのシャトルを使って練習する様子

■ 産学連携による「見える化」の成果：45分間で「手投げ」から「全身運動」へ

指導の質をより客観的に評価するため、静岡理科大学 スポーツ科学研究室・富田教授との連携を開始しました。児童67名を対象に3D動作解析を行い、そのデータを基に「目視によるスコア化」と「データによる数値化」の2つの手法で分析を行いました。これにより、従来は指導者の主観的な評価にとどまっていた指導効果を、科学的な裏付けをもって証明することに成功しました。

1 【目視によるスコア化】5段階パターン判定で「理想のフォーム」への変化を確認

撮影した3D動作データに基づき、投球フォームを5段階の動作パターンに分類してスコア化しました。

・客観的なスコア向上

専門的な視点で指導前後のフォームを比較・判定した結果、わずか45分の授業で多くの児童がより高いスコアの動作パターンへ移行したことを確認しました。

「投げる動作」の発達段階の特徴	動作パターン
パターン1 上体は投球方向へ正対したままで、支持面の変化や体量の移動は見られない	
パターン2 両足は動かさず、支持面の変化はないが、反対側へむく動作によって投げる	
パターン3 投球すると同時に同じ側の足の前方向へのステップの導入によって、支持面が変化する	
パターン4 投球する際と逆側の足のステップがともなう	
パターン5 パターン4の動作様式に迫る、ワインドアップ動作が見られる	

5段階の動作パターン
 (静岡理科大学 スポーツ科学研究室作成)
 ※JSPGが発行する『アクティブチャイルドプログラム』を活用

2 【データによる数値化】グラフが証明する「タメ」と「爆発力」の向上

3D 動作データから抽出した「身体の使い方」をグラフ化し、分析を行いました。

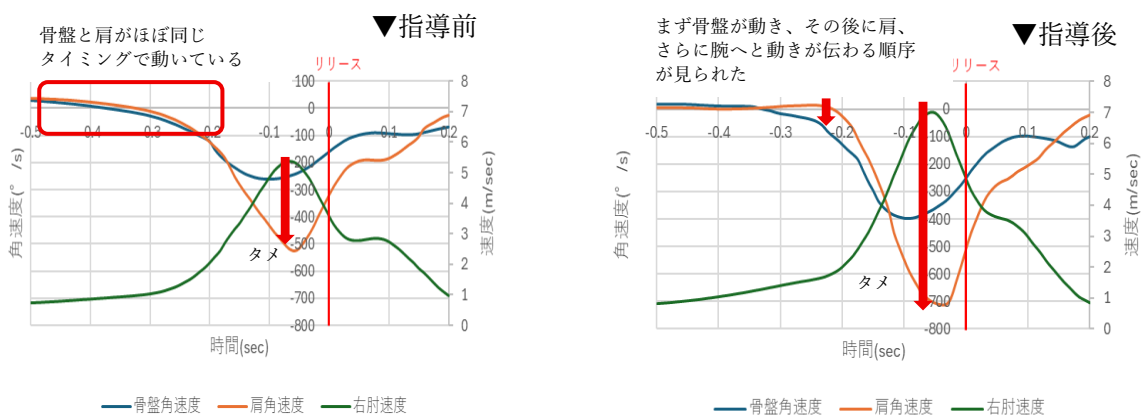
・「タメ」の創出と連動性の向上（上肢）

指導前は手投げ（骨盤と肩が同時に動く）傾向にありましたが、指導後は骨盤→肩→腕の順に力が伝わる「運動連鎖」が改善。肩の開きを抑えた「タメ」が作れるようになったことで、右手首の速度・加速度が20～40%増加しました。

・「爆発力」を生むステップの進化（下肢）

ステップ幅が拡大し、踏み込んだ脚で身体を支える支持力が向上。リリースに合わせて下半身のエネルギーを一気に放出させる、重心移動が可能となりました。

指導によってこれら下肢から上肢へとつながる運動連鎖が促され、全体的に力強い投球動作へと変化したことが証明されました。



引用：静岡理工科大学「小学生を対象とした投げ方教室による投球動作と身体の連動性の変化(上肢・下肢)」

3 行政・教育現場が「安心して導入できる」プログラムへ

これらの解析結果は、適切な指導によって子どもたちが本来持っている「潜在的な運動能力」を短時間で引き出せることを裏付けています。産学連携によるデータ裏付けができたことで、本プログラムは「個人の経験則による指導」から「科学的根拠に基づく教育プログラム」へと進化しました。今後も行政や教育現場が安心して導入できる質の高い学習機会を提供してまいります。

■ 今後の展望：持続可能な「まちづくり・ひとづくり」へ

本活動は、静岡市および三島市と締結した「スポーツを活かしたまちづくり・ひとづくりのための連携事業に関する協定」に基づき、現役アスリートの知見を地域へ還元する取り組みであるとともに、プログラムの質をさらに高め、行政（教育委員会等）と連携しながら、持続可能な活動として地域社会への貢献をめざします。

今後も“スポーツの力”で子どもたちの健やかな成長を支え、地域に開かれた実業団チームとして、産学官の枠組みで地域の課題解決に真摯に取り組んでまいります。2026年度、「なげかた教室」については協定自治体のモデル校を中心に、さらなるプログラムの進化をめざします。

【監督 良知宏一のコメント】

「ソフトボールが『生涯スポーツ』として地域に根付き、子どもたちの未来に貢献できるよう、行政や大学と連携し活動の質を高めていきます。大学との連携で科学的に“投げ方”を研究し、指導方法を常に改善していきます。」

■ 静甲株式会社について

当社（本社：静岡県静岡市、代表取締役 社長執行役員：鈴木孝典）は、社会インフラやモノづくりを支える産業機械、冷間鍛造、電機機器、車両関係などの事業を通じ、地域の暮らし・コミュニティを安心・安全で豊かなものにすることをめざして活動しております。

【静甲ソルフエジオ（SEIKO SOLFEGGIO）】

創部 46 年の歴史を持つ静甲ソフトボール部は、地域密着型実業団として、2026 年シーズンより「静甲ソルフエジオ」へと名称を変更し始動しました。

現在は日本女子ソフトボールリーグに所属。競技の枠を超え、地域と“共鳴”するチームとして静岡の未来創りに貢献しています。

以 上